

事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	現状と課題	担当課	
方針 経済活動の早期再建を支援し、雇用の確保を図ります。							
施策ア 仮設の工場や事務所の整備などにより、被災企業などの早期の事業再開を支援します。							
1	仮設店舗等貸与事業	中小企業基盤整備機構が建設する仮設店舗などを市が借り受けて、中小企業者に転貸 ・支援対象：被災した中小企業者 ・建物種類：店舗、事務所及び工場 ・建設場所：被災事業者が希望する土地など ・綾里黒土田総合運動公園駐車場 ・末崎町小細浦地区 ・大船渡町茶屋前地区 ・大船渡町野々田地区 など ・支援期間：原則入居から2年間	中小企業基盤整備機構 市	H23～H25	着手済	【現状】 ・28カ所199区画の整備を実施中（平成23年12月末現在） ・完成した施設から随時営業を開始 【課題】 ・今後、希望する区画数が整備されるよう要望を継続する必要がある	商工観光物産課
2	中小企業等復旧・復興支援事業	複数の中小企業などから構成されるグループが復興事業計画を作成し、認定を受けた場合に、施設・設備の復旧・整備に対して補助 ・補助率：国1/2、県1/4（大企業の場合は国1/3、県1/6）	国・県	H23～H26	着手済	【現状】 ・本年度は3次募集まで行われた 【課題】 ・4次募集以降が実施されるかが課題である	商工観光物産課
施策イ 雇用環境を改善し、雇用の維持と創出を図ります。							
3	企業誘致推進事業	新たな土地利用計画に基づき、製造業など雇用の拡大が見込まれる企業の誘致活動を展開 ・製造業などの市外企業 ・土地利用計画産業区域内の空き用地の活用 ・企業立地奨励制度などによる誘致活動	市 関係団体	H23～	着手済	【現状】 ・案件ごとに折衝中 【課題】 ・工場などの用地・空き物件の不足	港湾経済課
4	工業用地整備事業	永浜・山口地区工業用地 ・県に対する整備促進要望 ・ガレキ処理場終了を見越して県とセールス活動 ・新たな工業用地の整備検討 ・新たな土地利用計画の中で検討	県・市	H23～	検討中	【現状】 ・永浜・山口地区工業用地はガレキ処理場として使用中 【課題】 ・新たな工業用地の検討	港湾経済課
5	求職者資格取得支援事業	求職者が資格取得をする際、受講料の一部を補助 ・上限額：1人につき15,000円	市	H23～	着手済	【現状】 ・申請受付中（平成23年12月末現在41件助成済） 【課題】 ・対象技能講習の拡大の検討	商工観光物産課
6	雇用促進奨励支援事業	新規学卒者などを雇用した事業主へ上限20万円を奨励金として交付 ・対象：新規学卒者などを6か月以上常用雇用した市内事業主	市	H23～	着手済	【現状】 ・申請受付中（平成23年12月末現在10件助成済） 【課題】 ・震災の影響により雇用時期のずれもあることから、事業の周知を徹底する必要がある	商工観光物産課
7	ジョブカフェ気仙支援事業	ジョブカフェ気仙の運営費を補助 ・各種セミナーの開催 ・ガイドブックの作成 ・女性等就業相談員の配置	市	H23～	着手済	【現状】 ・県大船渡地区合同庁舎1階で開所中 【課題】 ・今後の開所場所について検討を要する	商工観光物産課
8	ふるさと雇用再生特別基金事業	雇用機会が見込まれる市営事業を民間企業などに委託 ・新たに雇用する労働者の雇用期間：原則1年以上	市	H23	着手済	【現状】 ・中小企業等復興支援事業ほか6事業を実施中 【課題】 ・特になし	商工観光物産課
9	市町村緊急雇用創出事業	市町村が行う失業者などの雇用及び就業機会を緊急かつ臨時的に創出する事業に対する補助	市	H23～H24	着手済	【現状】 ・漁業者生活再建緊急支援事業ほか54事業を実施中 【課題】 ・事業の周知を徹底する必要がある	商工観光物産課

	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	現状と課題	担当課
10	デュアルシステム型被災者等ものづくり技術習得支援事業	被災地の離職者などを県内企業が一時的に雇用し、職場実習や講義などを組み合わせ、被災者などの生活基盤の安定と被災企業の再建を担うものづくり技術者の育成などを支援	県	H23～H24	着手済	【現状】 ・県内の受入企業20社(50人)で求人中 【課題】 ・求人情報の周知	商工観光物産課
11	漁業就業相談会企画事業	沿岸漁業の担い手を確保・育成するため、漁業者と就業希望者との相談会(漁業就業支援フェア)の当市開催を促進 ・年2回程度	岩手県漁連	H23～H27	着手済	【現状】 ・県や県漁連と連携し、市内で漁業就業支援フェアを開催している 【課題】 ・対象者の掘り起こしや開催方法の改善が必要である	水産課
12	新規漁業就業者育成支援事業	漁協などが行う新規就業者の就業準備講習会や座学・実地研修の実施などに対する支援	漁協	H25～	検討中	【現状】 ・各種支援制度を活用した事業導入を検討中 【課題】 ・漁協、漁業者を含め、復旧・復興事業に一定の目処がついた時点で事業着手を検討しなければならない	水産課
13	新規就農者支援事業	市農協が新規就農予定者を対象に実施する栽培指導研修費用の一部を助成	市農協	H23～	検討中	【現状】 ・市農協において、栽培指導研修開催に向け内容を検討中 【課題】 ・新規就農者の掘り起こし	農林課
14	大船渡市有林美しい森林育成事業	市有林の枝打ち及び病害虫捕獲作業を通して、新たな林業従事者を育成	市	H23	着手済	【現状】 ・緊急雇用創出事業において5人を雇用して事業実施中 【課題】 ・特になし	農林課
15	被災者支援事業	市内被災者を対象に、ガレキ撤去・分別などの仕事を斡旋 ・雇用場所:ガレキ撤去・分別場所 市内11カ所 ・賃金形態:日額 7,200円 ・雇用期間:H23.4～ガレキの処理が終了するまで	市	H23～H24	着手済	【現状】 ・221人を雇用(平成23年11月末現在) 【課題】 ・特になし	総務課
16	臨時職員緊急雇用事業	離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者などの失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供するため、県の臨時職員として任用	県	H23～H24	着手済	【現状】 ・県全体で494人を雇用(平成23年9月末現在) 【課題】 ・より安定的、長期的な雇用創出が求められている	商工観光物産課
17	離職者等再就職訓練事業	災害復旧などの求人需要に対応するため、離職者等再就職訓練事業において、新たに特別訓練コースとして建設機械等操作資格を取得するコースを追加 ・実施場所:宮古市、釜石市、大船渡市 ・訓練コース:4コース ・訓練定員:90人	県	H23	着手済	【現状】 ・県全体で4コース(受講者87人)中、1コースの訓練を終了 ・3コースについては、訓練実施中 【課題】 ・訓練実施場所の確保	商工観光物産課
18	被災求職者等雇用人材育成事業	被災した離職者などの雇用の場を早急に確保するため、離職者などと企業などとのマッチングや、企業などの人材ニーズに合わせた人材を育成 ・新規雇用人数:160人	県	H23	着手済	【現状】 ・委託事業者数:15事業者(県全体) ・雇用予定人数:469人(県全体) 【課題】 ・沿岸部からの応募者の確保	商工観光物産課
19	沿岸地域食品事業者復興支援事業	沿岸地域において、食品事業者などが行う新商品・サービスの開発や販路開拓などの取り組みを雇用面で支援 ・新規雇用人数:140人	県	H23～H24	着手済	【現状】 ・県全体で12業者(雇用予定人数60人)に委託済 【課題】 ・実施状況についての情報共有	商工観光物産課

事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	現状と課題	担当課
20 認定職業訓練施設 災害復旧事業	被害を受けた認定職業能力開発施設を復旧するため、施設設置者である地元市及び訓練法人に対する補助 ・大船渡市(技能訓練所)ほか3市	市 職業訓練法人	H23～H24	実施済	【現状】 ・市の施設復旧が終了 【課題】 ・建設関係の訓練実施場所の確保	商工観光物産課
21 雇用調整助成金や 雇用保険等の給付 (「日本はひとつ」しごとプロジェクト)	経営状況が落ち込んだ企業が従業員の休業などで解雇を食い止めた場合、国が手当の一定割合を助成する制度について、震災に伴う支給要件の緩和や失業給付などに係る特例を実施 ・雇用調整助成金の拡充: 特例対象期間(1年間)中に開始した休業を最大300日間助成金の対象に ・雇用保険の延長給付の拡充: 雇用保険の給付日数を現行の個別延長給付(60日)に加え、さらに延長	国・県	H23	着手済	【現状】 ・就業支援員による事業所訪問件数: 3,004件(県全体) 【課題】 ・今後、雇用保険給付期間満了者が多数発生することから、さらなる就業支援が必要である	商工観光物産課
22 勤労者福祉施設災害復旧事業	津波被害を受けたシーパル大船渡、働く婦人の家及び勤労青少年ホーム(いずれも1階部分)の復旧	市	H23～H24	着手済	【現状】 ・シーパル大船渡については、平成23年度内に修繕予定 ・婦人の家及び勤労青少年ホームについては、市民体育館と併せて復旧予定 【課題】 ・効果的な事業推進を図る必要がある	商工観光物産課
23 就業支援推進事業	就業支援員による、関係機関と連携した雇用・労働に関する地域課題や相談への対応、企業訪問及び学校訪問をベースとした高校生の就職や若年者の職場定着支援	県	H23～	着手済	【現状】 ・就業支援員による学校訪問件数: 3,029件(県全体) 【課題】 ・未内定者の就業支援 ・若手社員のフォローアップ	商工観光物産課
24 特定求職者雇用開発助成金の特例措置	被災者や震災による離職者を1年以上雇用する場合、助成金を支給	国	H23	着手済	【現状】 ・被災により離職した求職者を雇用した場合、1人につき最大90万円を助成 【課題】 ・すでに6ヵ月以上就職したものを雇用した場合、対象外となることについての周知	商工観光物産課
施策Ⅰ 既存の借入金と新たな借入金による二重ローンの軽減について、関係機関に働きかけます。						
25 復興支援ファンド設立支援事業	二重ローン問題解消に向けた既存債権の買取を行う復興支援ファンドの設立を支援 ・復興支援ファンドが既存債務を買取り、既存債務の利子補給を実施し、負債を一時凍結	国・県 金融機関など	H23	着手済	【現状】 ・平成23年10月上旬に復興支援ファンドとして「岩手県産業復興機構」が設立された ・岩手産業復興相談センター大船渡事務所(大船渡商工会議所内)において67件受付(平成24年1月現在) 【課題】 ・関係機関と協力しながら、さらなる事業の周知を図る必要がある	商工観光物産課
26 水産業共同利用施設復旧支援事業(漁協、水産加工業協同組合など)	漁協や水産加工業協同組合などが有する共同利用施設の早期復旧、再開に必要な機器などの整備や施設修繕に対する補助	漁協、水産加工業協同組合など	H23	着手済	【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業実施中 【課題】 ・平成23年度内に終了が困難な事業がある	水産課

事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	現状と課題	担当課	
方針 産業基盤を再建します。							
施策ア 被災した各種産業の生産基盤などを早期に復旧します。							
27	コンテナ定期航路再開事業	被災した荷役機械などの整備 ・ハーバークレーン・リーチスタック・管理棟 ・税関検査テント・コンテナ洗浄機器などコンテナヤード関連設備 ・コンテナターミナル会社及びコンテナ船運航会社との協議 ・利用荷主へのポートセールス	県・市 関係団体 関係企業	H23～	着手済	【現状】 ・荷役機械の復旧のため、国補助などを申請中 【課題】 ・関係団体の自己負担金の拠出、荷役機械以外の設備の復旧	港湾経済課
28	港湾利活用推進事業	港湾物流のための施設整備 ・リーファー設備、電源設備、ソーラス設備(フェンス、照明等)など ・上屋、倉庫(津波危険区域に設置する場合は津波に強い形状)	県	H23～	検討中	【現状】 ・コンテナ及びソーラス関連の事業実施は、平成25年度以降の見込み 【課題】 ・早期復旧に向け、国・県に要望を継続する必要がある	港湾経済課
施策イ 基盤整備にあたっては、建築物の構造強化や電源対策の推進など、防災機能の向上に配慮するほか、重要施設などへの重点・優先投資を行います。							
29	津波被災地域建築物安全対策事業	建築基準法第39条に基づく災害危険区域の指定による安全確保の検討 ・建築物の構造制限などによる建築規制	市	H23～	未着手	【現状】 ・土地利用計画を調整中 【課題】 ・規制内容の詳細な検討	都市計画課
	港湾利活用推進事業〔再掲〕	港湾物流のための施設整備 ・リーファー設備、電源設備、SOLAS設備など ・上屋、倉庫(津波危険区域に設置する場合は津波に強い形状)	県	H23～	検討中	【現状】 ・コンテナ及びソーラス関連の事業実施は、平成25年度以降の見込み 【課題】 ・早期復旧に向け、国・県に要望を継続する必要がある	港湾経済課
方針 水産業の早期再建を図ります。							
施策ア 漁船や養殖施設の共有・共用化、漁業の共同経営化などに対する支援を行います。							
30	共同利用漁船等復旧支援対策事業	漁協などが実施する漁業者が共同利用する漁船、定置網などの一括整備に対する補助	漁協	H23～H25	着手済	【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業実施中 【課題】 ・平成23年度内に完了が困難な事業がある	水産課
31	水産業経営基盤復旧支援事業	漁協などによる養殖施設などの共同利用施設の一括整備に対する補助	漁協	H23～H25	着手済	【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業実施中 【課題】 ・効果的な事業推進を図る必要がある	水産課
32	養殖用種苗供給事業	養殖業の再開に向け、漁協が行うワカメ、コンブ、ホタテガイ、カキ種苗などの一括購入に対する補助	漁協	H23～H25	着手済	【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業実施中 【課題】 ・効果的な事業推進を図る必要がある	水産課
施策イ 新しい大船渡魚市場を早期に整備します。							
33	新大船渡魚市場整備事業	新しい魚市場の被災個所の補修工事と完成までの残工事の再開	市	H23～	着手済	【現状】 ・補修工事設計中 ・建設地沈下に対する埋め戻し工事は県で実施準備中 【課題】 ・手戻り復旧工事の早期実施、残工事の早期再開、新市場完成後の管理体制の検討など	水産課
34	現大船渡魚市場災害復旧事業	現魚市場の建物及び設備の修繕(産地魚市場緊急支援事業)	市	H23	実施済	【現状】 ・事業実施済 【課題】 ・補助事業に該当しない細かな修繕要望への対応	水産課

	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	現状と課題	担当課
35	水産業共同利用施設復旧支援事業(大船渡魚市場)	現魚市場施設の早期復旧に必要な業務用機械器具の修繕整備	市	H23	着手済	【現状】 ・機器類の購入契約締結済 【課題】 ・効果的な事業推進を図る必要がある	水産課
施策ウ 漁業協同組合の経営安定化を図ります。							
36	漁業協同組合等機能回復支援事業	津波により事務所などが被災した漁協機能の早期回復に必要な施設復旧、データ復旧、OA機器などの整備や各組合が行う漁業復興計画の策定に対する補助	漁協	H23	着手済	【現状】 ・事業実施主体で事業実施中 【課題】 ・効果的な事業推進を図る必要がある	水産課
	水産業経営基盤復旧支援事業[再掲]	漁協などによる養殖施設などの共同利用施設の一括整備に対する補助	漁協	H23～H25	着手済	【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業実施中 【課題】 ・効果的な事業推進を図る必要がある	水産課
37	製氷保管施設早期復旧支援事業	漁協が行う産地魚市場で使用する氷の製氷・貯氷施設の整備に対する補助	漁協	H23	着手済	【現状】 ・事業実施主体で事業実施中 【課題】 ・平成23年度内の事業完了が困難な状況である	水産課
施策エ 地域特産水産物のPRや地産地消の取り組みを進めます。							
38	海の恵み体験施設復旧事業	地域水産物の安定的な展示販売を行うため、津波により被災した三陸蓄養センター及び地震により被災した三陸ふるさと物産センターを復旧	市	H23～H25	着手済	【現状】 ・ふるさと物産センターの修繕を一部実施済 ・蓄養センターの復旧は関係者と方向性を検討中 【課題】 ・ふるさと物産センターの未対応の被災個所の修繕 ・蓄養センター復旧の方向性	水産課
39	東日本大震災対応・緊急研究開発成果実装支援プログラム	大型マイクロバブル発生装置による大船渡湾の水質浄化試験	独立行政法人	H23	着手済	【現状】 ・民間団体が独自に事業実施中 【課題】 ・成果の取りまとめと技術の普及	水産課
40	漁業の6次産業化支援事業	漁業者などによる養殖ワカメなどの地域水産物の新たな販売モデル事業などの導入実施に対する補助	漁協	H25～H27	検討中	【現状】 ・各種支援制度を活用した事業導入を検討中 【課題】 ・漁協、漁業者を含め、復旧・復興事業に一定の目処がついた時点で事業着手を検討しなければならない	水産課
41	大船渡産水産物安定流通システム構築事業	大船渡産水産物のトレーサビリティシステムの普及並びに放射性物質の測定調査、情報提供などにより安心・安全をアピールするとともに、品質管理体制を向上	市(魚市場)、漁協	H24～	検討中	【現状】 ・放射性物質の測定調査及び情報公開は国・県中心で実施中 ・市は情報把握と市民への周知を実施 ・トレーサビリティシステムについては検討中 【課題】 ・国・県による放射性物質調査品目以外の独自調査の検討 ・トレーサビリティシステム導入の必要性と手法、対象魚種の選定など	水産課

事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	現状と課題	担当課	
施策オ 水産関連施設の防災機能の向上を図るほか、集約化などにより効果的に整備します。							
42	漁港関係施設等復旧事業	被災した漁船、漁港などへの漂着物などの撤去、ガレキ処分	市	H23～H25	着手済	【現状】 ・ガレキ撤去業務を発注し、作業中 【課題】 ・作業範囲、作業終了時期を検討する必要がある	水産課
43	漁港関係施設等復旧事業(漁港施設)	被災した防波堤・岸壁・臨港道路など漁港施設の復旧 県管理:門の浜、大船渡、綾里、越喜来、崎浜、根白(6漁港) 市管理:暮石、泊里、蛸ノ浦、長崎、合足、小路、野野前、砂子浜、小石浜、鬼沢、泊、小壁、増館、吉浜、扇洞、千歳(16漁港)	県・市	H23～H27	着手済	【現状】 ・災害査定終了 ・現時点で4漁港の復旧事業に着手済 【課題】 ・効果的な事業推進を図る必要がある	水産課
44	漁港関係施設等災害復旧事業(漁業集落排水施設)	被災した漁業集落排水施設(処理場、管路など)の復旧 ・蛸ノ浦地区、砂子浜地区、小石浜地区、根白地区、千歳地区(5地区)	市	H23～H27	着手済	【現状】 ・災害査定終了 ・千歳、小石浜、砂子浜地区は本復旧工事に着手済 ・根白、蛸ノ浦地区は応急仮復旧済、今後、本復旧事業に着手予定 【課題】 ・効果的な事業推進を図る必要がある	水産課
	水産業経営基盤復旧支援事業(再掲)	漁協などによる養殖施設などの共同利用施設の一括整備に対する補助	漁協	H23～H25	着手済	【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業実施中 【課題】 ・効果的な事業推進を図る必要がある	水産課
45	さけ・ます生産地震災復旧緊急支援事業	平成24年春のさけ・ます種苗放流を可能とするため、漁協が運営するサケふ化場の緊急整備に対する補助	漁協	H23	着手済	【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業実施中 【課題】 ・平成23年度内に完了が困難な事業がある	水産課
46	アワビの里復旧事業	つくり育てる漁業を推進するため、津波により被災したアワビ生産センターを復旧	市	H24～H25	検討中	【現状】 ・アワビ生産センター復旧の方向性を関係者と検討中 【課題】 ・具体的な今後の方向性	水産課
	水産業共同利用施設復旧支援事業(漁協、水産加工業協同組合など) [再掲]	漁協や水産加工業協同組合などが有する共同利用施設の早期復旧、再開に必要な機器などの整備や施設修繕に対する補助	漁協、水産加工業協同組合など	H23	着手済	【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業実施中 【課題】 ・平成23年度内に終了が困難な事業がある	水産課
47	採介藻漁業復旧支援事業	漁協が行う採介藻漁業の再開に必要な紫外線海水殺菌装置などの整備に対する補助	漁協	H24～H25	未着手	他の事業に統合予定	水産課
施策カ 持続可能な水産業の仕組みを模索します。							
48	水産物等残渣処理事業	水産加工場冷蔵倉庫内の水産物など残渣の積込、搬出、運搬、処理及び搬出先の確保	大船渡湾冷凍水産加工業協同組合	H23	着手済	【現状】 ・水産物残渣の地中埋却処理を終了 【課題】 ・埋却地の管理手法について検討する必要がある	水産課
49	海上ガレキ処理事業	湾内の水質汚染や漁業への影響を考慮し、海上ガレキを撤去、運搬及び処理	市	H23	着手済	【現状】 ・ガレキ撤去業務を発注し、作業中 【課題】 ・作業範囲、作業終了時期を検討する必要がある	水産課

事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	現状と課題	担当課
50 漁業者等再建緊急支援事業	漁業者などが行う漁場のガレキ撤去、回収作業などへの従事に係る賃金給付	市	H23	着手済	【現状】 ・県の緊急雇用創出事業を活用し、事業実施中 【課題】 ・ガレキ撤去終了後から経営再建までの雇用支援策を検討する必要がある	水産課
51 むらづくり研修施設整備事業	津波、地震により被災したむらづくり研修施設の復旧整備、修繕など（漁業地域交流センター、田浜はまゆり会館、漁村センター、野々前しおさい会館、扇洞会館）	市	H24～H28	着手済	【現状】 ・一部被災施設の修繕を実施済 ・流失した施設の復旧は関係者と方向性を検討中 【課題】 ・未対応の被災個所の修繕、流失した施設復旧の方向性	水産課
さけ・ます生産地震災復旧緊急支援事業【再掲】	平成24年春のさけ・ます種苗放流を可能とするため、漁協が運営するサケふ化場の緊急整備に対する補助	漁協	H23	着手済	【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業実施中 【課題】 ・平成23年度内に完了が困難な事業がある	水産課
アワビの里復旧事業【再掲】	つくり育てる漁業を推進するため、津波により被災したアワビ生産センターを復旧	市	H24～H25	検討中	【現状】 ・アワビ生産センター復旧の方向性を関係者と検討中 【課題】 ・具体的な今後の方向性	水産課
漁業の6次産業化支援事業【再掲】	漁業者などによる養殖ワカメなどの地域水産物の新たな販売モデル事業などの導入実施に対する補助	漁協	H25～H27	検討中	【現状】 ・各種支援制度を活用した事業導入を検討中 【課題】 ・漁協、漁業者を含め、復旧・復興事業に一定の目処が立った時点で事業着手を検討しなければならない	水産課
52 アサリ増殖場整備事業	アサリを対象種に資源の増産と持続的利用を図り、漁家世帯の所得向上と地域振興を図るための大船渡湾内における増殖場整備事業（湾内の環境調査を含む） ・面積：10,000㎡	市	H26～H30	未着手	【現状】 ・被災により湾内環境が変化しており、平成24年度に再調査を実施予定 【課題】 ・再調査結果を踏まえた事業規模などを再検討する必要がある	水産課
漁業就業相談会参画事業【再掲】	沿岸漁業の担い手を確保・育成するため、漁業者と就業希望者との相談会（漁業就業支援フェア）の当市開催を促進 ・年2回程度	岩手県漁連	H23～H27	着手済	【現状】 ・県や県漁連と連携し、市内で漁業就業支援フェアを開催している 【課題】 ・対象者の掘り起こしや開催方法の改善が必要である	水産課
大船渡産水産物安定流通システム構築事業【再掲】	大船渡産水産物のトレーサビリティシステムの普及並びに放射性物質の測定調査、情報提供などにより安心・安全をアピールするとともに、品質管理体制を向上	市（魚市場）、漁協	H24～	検討中	【現状】 ・放射性物質の測定調査及び情報公開は国・県中心で実施中 ・市は情報把握と市民への周知を実施 ・トレーサビリティシステムについては検討中 【課題】 ・国・県による放射性物質調査品目以外の独自調査の検討 ・トレーサビリティシステム導入の必要性と手法、対象魚種の選定など	水産課

	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	現状と課題	担当課
方針 農林業のあり方を検討し、振興策を見出します。							
施策ア 遊休農地の有効利用を踏まえながら、被災した農地などを早期に復旧します。							
53	農地災害復旧事業	津波浸水被害農地の堆積土砂撤去、除塩、客土、整地	県	H23～H25	着手済	【現状】 ・災害査定終了 【課題】 ・施工業者の確保と円滑な事業実施	農林課
54	農業用施設災害復旧事業	農業用施設の復旧 ・農業用道路、水路	県	H23～H25	着手済	【現状】 ・災害査定終了 【課題】 ・施工業者の確保と円滑な事業実施	農林課
55	(仮称)農地災害関連区画整理事業	生産性・収益性の高い農業の実現のため、災害復旧と併せて圃場などを整備 ・吉浜地区 区画整理面積 30ha	県	H23～H28	着手済	【現状】 ・地区での説明会を開催 ・災害査定終了 【課題】 ・区画整理に伴う地権者の承認取得	農林課
56	東日本大震災農業生産対策事業	被災した農業関連の共同利用施設などの復旧や共同利用農業機械の導入を支援 ・ころ柿シール機 1台 ・水稻育苗ハウス(30a) 3棟	市農協	H23	着手済	【現状】 ・事業計画書を作成中 【課題】 ・施設の建設場所の確保 ・事業実施主体の財源確保	農林課
57	被災農家経営再開支援事業	津波などの被害を受けた農地の復旧作業を共同で行う農業者に対し、復興組合を通じて経営再開支援金を支給 ・支援単価限度額:水田作物 3.5万円/10a、路地野菜(花きを含む) 4.0万円/10a	県	H23～H25	着手済	【現状】 ・吉浜、合足、田浜の3地域が復興組合を設立し、事業実施中 【課題】 ・平成24年度事業の対象農地の把握	農林課
58	小規模農地等災害復旧事業(県単独事業)	被災した農地・農業用施設について、国の災害復旧事業制度の対象とならない小規模な災害復旧を支援 ・1農家あたり工事費の合計額が13万円以上	市 受益農家	H23	検討中	【現状】 ・被災農地の被害状況を調査し、復旧の対応方法を検討中 【課題】 ・復旧見込額による市・県単独事業への振り分け	農林課
59	被災農地小規模災害復旧事業(市単独事業)	被災した農地について、国庫補助事業及び県単独事業の対象とならない小規模な災害復旧事業を実施 ・1農家あたり事業費の合計が13万円未満	市	H23	着手済	【現状】 ・被災農地の被害状況を調査し、復旧の対応方法を検討中 【課題】 ・施工業者の確保	農林課
60	中山間地域総合整備事業	農業生産基盤の整備 ・三陸町吉浜大野地区 区画整理 27.1ha 客土 18.9ha 暗渠排水 13.5ha	県	H23～H29	着手済	【現状】 ・県において、事業採択に向けた調査事業を実施中 【課題】 ・負担金などに係る地元との調整	農林課
61	(仮称)三陸みらい園芸産地づくり事業	夏季冷涼で冬季温暖な三陸地域の気象条件を活かした、高収益施設園芸品目のハウスなどの生産施設整備を支援 ・品目:イチゴ、ほうれん草、菌床椎茸	農業者で組織する団体など 市農協	H24～H26	検討中	【現状】 ・県において、要綱の策定を検討中 【課題】 ・事業主体と施設の建設場所の選定・確保	農林課
62	(仮称)農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業	被災した産直施設、食材供給施設などの復旧を支援 ・菌床椎茸ハウス(50坪) 6棟 ・菌床椎茸集荷施設 1棟 ・菌床椎茸ホダ玉 40万玉	市 市農協 菌床椎茸生産組合	H24～H25	検討中	【現状】 ・平成24年度の本格実施に向けて計画を作成中 【課題】 ・施設建設場所の確保 ・事業実施主体の財源確保	農林課

事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	現状と課題	担当課
63 海岸保全施設災害復旧事業	被災した農地海岸保全施設に係る応急的な復旧や、新たな基準に基づく海岸堤防の復旧・整備を実施 ・海岸保全施設：吉浜、沖田、合足 ・応急工事（暫定堤防）平成23年8月～	県	H23～H25	着手済	【現状】 ・災害査定終了 ・吉浜、合足の応急堤防工事終了 【課題】 ・吉浜海岸防潮林地の取得	農林課
防災集団移転促進事業【再掲】	居住に適当でないと思われる区域内にある住居の集団移転の促進 ・住民の意向を踏まえて移転促進区域を設定するほか、住宅団地の整備、移転者に対する助成などを行う ・住宅団地の規模は5戸以上（移転しようとする住居の数が10戸を超える場合には、その半数以上の戸数） ・土地利用にあたっては、所有者の意向を確認しながら遊休農地の活用を図る ・移転後の跡地については、再び住宅が建設されて危険が生じることのないよう、条例により建築基準法第39条の規定による災害危険区域として指定する	市	H23～H28	検討中	【現状】 ・市内各地で説明会を開催中 【課題】 ・移転希望者の把握、移転先用地の確保	都市計画課
施策イ 地産地消の取り組みを進めるなど、農林業振興を図ります。						
64 むらづくり研修施設整備事業	集会施設整備（2施設） ・合足ふるさとセンター ・甫嶺地区集会施設	市	H24～H28	検討中	【現状】 ・概算設計に向けて準備中 【課題】 ・再建場所の調整	農林課
65 (仮称)木材供給等復旧対策事業	津波によって流失・損壊した高性能林業機械や木材加工施設などの修繕・再整備を支援	森林組合・素材生産業者・木材加工業者	H23～H24	検討中	【現状】 ・該当事業者を調査中 【課題】 ・事業実施主体の財源確保	農林課
66 森林組合機能回復支援事業	森林組合機能の早期回復に不可欠な機器整備などを支援	森林組合	H23	着手済	【現状】 ・森林組合において、機器などを復旧済 【課題】 ・同組合三陸支所の事務スペースの確保	農林課
67 木材供給等緊急対策事業	・市内木材加工会社の生産、電力、熱利用などの施設整備を支援 ・市内木材加工会社を中心にバイオマス燃料の生産、電力、熱利用などの施設整備を支援	森林組合・素材生産業者・木材加工業者	H23～	未着手	【現状】 ・該当事業者を調査中 【課題】 ・事業実施主体の財源確保	農林課
68 (仮称)県産木材利用復興住宅促進事業	震災により住宅を失った住民が、居宅を一定割合以上の県産材を使用して建設する場合などに、地域型商品券や住宅設備費と交換可能な復興住宅ポイントを付与	県	H24～H26	検討中	【現状】 ・制度、実施方法などについて、整備・検討中 【課題】 ・住民の住宅建築資金の確保	農林課
69 塩害被害木除去事業	津波（海水）により枯れた森林の立木の除去経費を助成 ・1箇所あたりの被害面積が0.1ha以上 ・被害木の除去作業を森林組合などに委託して実施 ・施工箇所は、事業実施後10年間は森林以外へ転用できない	県・市	H23～	検討中	【現状】 ・国の災害廃棄物処理事業での同事業の実施に向けて準備中 【課題】 ・特になし	農林課
(仮称)三陸みらい園芸産地づくり事業【再掲】	夏季冷涼で冬季温暖な三陸地域の気象条件を活かした、高収益施設園芸品目のハウスなどの生産施設整備を支援 ・品目：イチゴ、ほうれん草、菌床椎茸	農業者で組織する団体など 市農協	H24～H26	検討中	【現状】 ・県において、要綱の策定を検討中 【課題】 ・事業主体と施設の建設場所の選定・確保	農林課
70 卸売市場施設災害復旧事業	早急に生鮮食料品などの安定的な供給体制を確保するため、被災した地方卸売市場の復旧及び機能高度化を支援	市場開設者	H23	検討中	【現状】 ・概算設計着手済、補助金申請準備中 【課題】 ・県道の嵩上げなど津波浸水流出地域の土地利用動向	農林課

	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	現状と課題	担当課
方針 商業の早期再建を図ります。							
施策ア 仮店舗や共同店舗の整備などにより、早期の事業再開を支援します。							
71	商店街活性化対策事業	商店街の販売促進や集客事業に対する補助	市	H23～	着手済	【現状】 ・商店街活性化対策事業(復興への希望の明かりを灯す盛町夏祭り事業)への助成 【課題】 ・各種補助金との調整	商工観光物産課
72	(仮称)被災商店街にぎわい支援事業	商店街のコンセプトづくりや活性化を図る取り組みを支援 ・専門家の招へい ・被災した商店街の賑わいの回復や人を呼び込むための事業	県	H24～	検討中	【現状】 ・平成24年度に事業実施予定 【課題】 ・事業についての情報共有	商工観光物産課
73	事業協同組合等の共同施設復旧補助事業	事業協同組合などの共同施設・設備の復旧に対する補助 ・補助率:国1/2、県1/4 ・要件:復旧経費が30万円以上の施設	国・県	H23～H25	着手済	【現状】 ・事業者からの補助金申請を受付済 【課題】 ・事業の周知	商工観光物産課
74	中小企業被災資産修繕補助事業	中小企業の現有店舗・工場などの修繕に対する補助 ・対象事業者:被災した沿岸地域の中小小売業者、サービス業者など ・対象経費:災害復旧に伴う修繕に要する経費 ・補助率:1/2以内の額	市	H23	着手済	【現状】 ・108件の補助金申請を受付済 【課題】 ・適切な補助対象の検討	商工観光物産課
	仮設店舗等貸与事業【再掲】	中小企業基盤整備機構が建設する仮設店舗などを市が借り受けて、中小企業者に転貸 ・支援対象:被災した中小企業者 ・建物種類:店舗、事務所及び工場 ・建設場所:被災事業者が希望する土地など ・綾里黒土田総合運動公園駐車場 ・末崎町小細浦地区 ・大船渡町茶屋前地区 ・大船渡町野々田地区 など ・支援期間:原則入居から2年間	中小企業基盤整備機構 市	H23～H25	着手済	【現状】 ・28ヵ所199区画の整備を実施中(平成23年12月末現在) ・完成した施設から随時営業を開始 【課題】 ・今後、希望する区画数が整備されるよう要望を継続する必要がある	商工観光物産課
75	多機能型複合施設整備事業	被災した老人福祉施設を活用した商業施設などの複合施設の整備	事業者 市	H23～H25	検討中	【現状】 ・具体的活用策について検討中 【課題】 ・資金支援団体などの確保	保健福祉課
施策イ 被災した商店街については、防災機能や利便性の向上などを考慮して再整備されるよう支援します。							
	津波避難ビル等の指定【再掲】	浸水想定区域内において構造的要件を満たす施設を津波避難ビルなどとして指定	市	H23～	未着手	【現状】 ・指定できるビルなどがない 【課題】 ・浸水想定区域内の土地利用計画が未確定	防災管理室
方針 観光産業の早期再建を図ります。							
施策ア 被災した観光資源・施設を復旧します。							
76	大船渡市観光物産協会運営支援事業	観光物産振興の核となる観光物産協会への補助	市	H23～	着手済	【現状】 ・補助金を交付し、誘客事業などを支援した 【課題】 ・被災流失した事務所の早期整備	商工観光物産課
77	観光施設整備事業	碓石海岸などの観光施設の復旧と今後の施設整備に係る調査・検討 ・案内板の整備 ・インフォメーションセンターなどの整備検討 ・海水浴場避難路などの検討	市	H23～	検討中	【現状】 ・国の復興事業と調整を図るため、協議中 【課題】 ・整備費用が膨大なことから、市単独での対応が困難である	商工観光物産課

事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	現状と課題	担当課
78 (仮称)沿岸地域観光産業再生支援事業	津波により失われた地域観光資源の復興に向け、核となる人材の育成とさまざまな機関によるネットワークの構築を促進 ・人材の育成:県内4地区(久慈、宮古、釜石、大船渡) ・ネットワークの構築:県内4地区	県	H24～	検討中	【現状】 ・県内4地区において地域アドバイザーを育成している 【課題】 ・地域内でのネットワークの拡大	商工観光物産課
施策イ 観光関連イベントを復活するほか、復興に係るキャンペーンを実施します。						
79 いわて destinations キャンペーン推進事業	沿岸の復興支援と内陸観光振興に向けた全国への情報発信、誘客事業の展開、地域主体の観光地づくりを推進 ・宣伝、誘客事業の実施 ・誘客イベント、情報発信など ・受入態勢整備事業 ・歓迎イベント、二次交通対策など (キャンペーン回数:年1回)	推進協議会	H23～	着手済	【現状】 ・平成24年4～6月に開催されるキャンペーンに向け、県とともに誘客事業を展開している 【課題】 ・JR大船渡線の復旧と旅行者の2次交通の確保	商工観光物産課
80 未知の奥・平泉観光振興事業	沿岸復興のシンボルとしての「平泉」を核に、情報発信、誘客事業を実施 ・情報発信(7回) ・広告媒体の活用、ポスターなど ・誘客事業(3回) ・誘客イベントなどの開催	県	H23～	着手済	【現状】 ・平成23年7月から首都圏JR駅などにポスター掲示している 【課題】 ・平泉町から大船渡市への誘客、移動手段の確保	商工観光物産課
81 国立公園の再編事業	陸中海岸国立公園の再編・整備 ・三陸海岸にある国立公園や県立公園を再編 ・国立公園の再編による名称変更	国	H23～	着手済	【現状】 ・国において、地域関係者からのヒアリングを実施 【課題】 ・再編・整備事業に関する関係機関との調整(情報共有)	商工観光物産課
82 三陸海岸長距離歩道(三陸海岸トレイル)整備事業	青森、岩手、宮城、福島各県にまたがる長距離歩道の整備 ・代表的な観光地などを結ぶ南北約350km ・福島県相馬市の松川浦県立自然公園～青森県八戸市の種差海岸まで	国	H24～	検討中	【現状】 ・平成24年3月の整備ビジョン策定に向け協議中 【課題】 ・既存の遊歩道の有効活用	商工観光物産課
施策ウ 農漁業体験などによる新たな観光振興を図ります。						
83 体験インストラクター養成事業	農漁業体験など新たな体験観光を推進するため、インストラクターを養成 ・インストラクター導入研修 ・スキルアップ研修	市	H24～	着手済	【現状】 ・県などで開催する研修会に積極的に体験提供者を派遣している 【課題】 ・インストラクター候補者の高齢化	商工観光物産課
84 (仮称)安全・安心グリーン・ツーリズム展開事業	グリーン・ツーリズム受入農林漁業者の安全・安心なグリーン・ツーリズム受入体制の構築支援と、県内外へのPR活動を実施	県	H23～	着手済	【現状】 ・観光団体などと連携してグリーン・ツーリズム旅行者の誘客に向けたPR活動を実施 【課題】 ・震災により体験メニューが減少している	商工観光物産課
85 被災地でのボランティア体験事業	首都圏の企業や個人を対象としたボランティアツアーの実施 ・被災地でのボランティア活動 ・被災地住民との交流	民間	H24～	着手済	【現状】 ・ボランティアツアー実施に向けた誘客活動を実施 【課題】 ・必要とされるボランティア活動の内容が参加者の要望と合致しない	商工観光物産課
施策エ 平泉の「世界文化遺産」登録や「ジオパーク」認定と連動した誘客活動を実施します。						
いわて destinations キャンペーン推進事業[再掲]	沿岸の復興支援と内陸観光振興に向けた全国への情報発信、誘客事業の展開、地域主体の観光地づくりを推進 ・宣伝、誘客事業の実施 ・誘客イベント、情報発信など ・受入態勢整備事業 ・歓迎イベント、二次交通対策など (キャンペーン回数:年1回)	推進協議会	H23～	着手済	【現状】 ・平成24年4～6月に開催されるキャンペーンに向け、県とともに誘客事業を展開している 【課題】 ・JR大船渡線の復旧と旅行者の2次交通の確保	商工観光物産課

	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	現状と課題	担当課
86	広域連携観光振興事業	岩手県観光協会など広域で連携した観光宣伝や観光客誘致を実施 ・岩手県観光協会 ・東北都市観光協議会 ・陸中海岸国立公園協会 ・三陸・けせん観光協議会 ・黄金王国推進委員会	協議会など	H23～	着手済	【現状】 ・広域での観光宣伝などに参画 【課題】 ・団体間の事業内容重複の解消	商工観光物産課
	博物館常設展示改修事業【再掲】	・津波災害を普及、継承するため、エントランスホール、シアター、荒れ狂う海・津波コーナーなどを改修し、明治三陸津波、チリ地震津波、東日本大震災の資料、映像、写真などを展示 ・三陸海岸のジオパーク登録を目指して、その情報や資源価値などを展示	市	H25～	未着手	【現状】 ・平成25年度から事業着手予定 【課題】 ・資料及び情報の収集・選択・評価に一定期間が必要である	博物館
方針 地場産業の活力により、産業・経済を活性化します。							
施策ア 既存企業の再生を支援します。							
87	中小企業融資あっせん事業	事業資金を融資するため、各金融機関へ原資を預託 ・小口資金：限度額 1,250万円 ・中口資金：限度額 3,750万円 ・開業資金：限度額 1,250万円 ・経営安定資金：限度額 2,500万円	市	H23～	着手済	【現状】 ・融資実行額：491,914千円 ・実行件数：54件 (平成23年9月末現在) 【課題】 ・融資制度利用の周知	商工観光物産課
88	中小企業振興事業	中小企業者で組織する団体などの実施事業に対する補助 ・対象事業：異業種交流、新商品開発促進、販売促進、人材養成など ・補助率：対象経費の1/2以内	市	H23～	未着手	【現状】 ・平成23年度事業は震災のため中止 【課題】 ・適切な補助対象の検討	商工観光物産課
89	中小企業特別対策事業	中小企業特別対策室の設置、専門経営対策指導員の委嘱 ・広報紙「しおさい」の発行 ・調査、相談業務	市	H23～	着手済	【現状】 ・大船渡商工会議所へ委託し、「しおさい」を発行している 【課題】 ・融資相談業務などの充実	商工観光物産課
90	中小企業融資補給事業	融資を利用した中小企業者へ保証料及び利子を補給 ・中小企業融資保証料の負担 ・中小企業融資利子補給の実施	市	H23～	着手済	【現状】 ・市融資制度利用企業へ1.5%の利子補給を実施 【課題】 ・融資制度利用の周知	商工観光物産課
	中小企業被災資産修繕補助事業【再掲】	中小企業の現有店舗・工場などの修繕に対する補助 ・対象事業者：被災した沿岸地域の中小小売業者、サービス業者など ・対象経費：災害復旧に伴う修繕に要する経費 ・補助率：1/2以内の額	市	H23	着手済	【現状】 ・108件の補助金申請を受付済 【課題】 ・適切な補助対象の検討	商工観光物産課
91	被災工場再建支援事業	被災した企業の工場などの再建に対する補助 ・被災前常用雇用者30人以上の企業 ・補助率：1/10 ・上限5,000万円(100人以上は1億円)	市	H23	着手済	【現状】 ・申請受付中 【課題】 ・各種補助事業に該当しない事業者への支援	港湾経済課
92	物産販路拡大事業	物産展への出品、インターネットによる周知 ・各種物産展などへ出展参加 ・インターネットによる販路拡大への支援 ・食品見本市開催 ・物産パンフレットの印刷 ・アンテナショップ設置の調査研究	市	H23～	着手済	【現状】 ・各地での各種物産展の開催や出展を展開している 【課題】 ・販路拡大には、より積極的なイベントなどへの参加・出店が必要である	商工観光物産課
93	中小企業復旧資金利子補給事業	岩手県中小企業災害復旧資金を借り受けた中小企業者に対し、予算の範囲内において利子補給金を交付 ・貸付利率 3年以内：年1.7%以内(固定) 3年～10年以内：年1.9%以内(固定)	市	H23～	着手済	【現状】 ・利子補給承認額：7,030千円 ・申請件数：12件 (平成23年12月末現在) 【課題】 ・制度利用の周知	商工観光物産課

事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	現状と課題	担当課	
施策イ 地場産業の連携・高度化や新たな分野での起業などを支援します。							
94	いわてものづくり産業人材育成事業	県内陸地域と沿岸・県北地域のものづくりネットワーク間の連携強化と産業集積を支える高度な産業人材の育成を支援 ・工業高校における技能士数:2,700人	県	H23～	着手済	[現状] ・県内5つのものづくりネットワークが、各地域の工業高校の技能検定講習などをサポートしている [課題] ・実施状況についての情報共有	商工観光物産課
施策ウ 北里大学など関係機関との産学官連携の取り組みを推進します。							
	北里大学海洋生命科学部早期再開促進事業(再掲)	北里大学海洋生命科学部三陸キャンパスの早期再開に向けた取り組みを関係機関とともに積極的に展開	市	H23～	着手済	[現状] ・機会をとらえて、三陸キャンパスの早期再開に向け、国・県に対し支援を要望するとともに、北里研究所・海洋生命科学部に直接働きかけている ・北里大学生に対する復興に向けた意識調査や、海洋生命科学部教職員との情報交換を実施している。 [課題] ・北里大学との連携・協力に関する協定を踏まえ、大学側で定めた学術的復興支援プログラムの推	企画調整課
95	産学官連携交流促進支援事業	北里大学海洋生命科学部と産学官連携に関する協議の場を設けるとともに、市内事業所などの復旧状況を見据えながら共同研究事業を支援 (共同研究補助) ・大学と市内事業所 ・補助率:2/3 ・上限120万円	市	H23～	着手済	[現状] ・北里大学海洋生命科学部が相模原キャンパスに移転するとともに、事業実施が想定される市内企業の多くも被災しているため、事業実施について調整中 [課題] ・北里大学と市内企業による共同研究事業の実施形態・内容について検討する必要がある	港湾経済課
	北里大学海洋生命科学部施設利用促進事業(再掲)	北里大学海洋生命科学部三陸キャンパス内施設(体育館、グラウンドなど)や設備(海水ポンプ、水槽施設など)の利用を積極的に促進	市	H23～	着手済	[現状] ・体育館やグラウンドなどの施設は、地元小・中学校や市内のスポーツ少年団が活用している [課題] ・特になし	企画調整課
96	三陸町養殖海域の水質調査事業	北里大学海洋生命科学部の協力を得ながら、三陸町内の養殖海域において水質調査を実施	市	H23～H32	着手済	[現状] ・調査実施中 [課題] ・北里大学海洋生命科学部との連携・協力体制の確保	水産課